

平成31年 2 月

平成31年度施政方針
と
予算議案・議案の概要

いちき串木野市

I. 施政方針

はじめに

本日ここに、平成31年第1回いちき串木野市議会定例会の開会に当たり、市政に対する所信を表明するとともに、予算議案の概要及び議案の概要について御説明申し上げ、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

昨年は、西日本豪雨や大型台風、地震など、全国各地で甚大な被害をもたらす大きな災害が相次ぎました。改めて災害の恐ろしさを痛感した次第であり、本市においても更なる危機管理意識の向上と体制強化の必要性を再認識したところであります。

また、年末は、全国高等学校駅伝競走大会において、神村学園が悲願の初優勝を成し遂げました。第30回記念の都大路で選手の皆さんが躍動し、市民、県民に夢と感動を与え、いちき串木野市の名を全国に轟かせてくれました。今後も更に活躍されることを大いに期待しております。

さて、我が国経済は、10月に消費税率の引上げが予定されている中、臨時・特別の措置により、雇用・所得環境の改善が続き、内需を中心とした景気回復が見込まれておりますが、通商問題が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があります。

国においては、持続的な成長経路の実現に向けて潜在成長率を上げるため、一人ひとりの人材の質を高める「人づくり革命」と、成長戦略の核となる「生産性革命」に最優先に取り組み、少子高齢化という最大の壁に立ち向かっていくこととしております。

本市においても、人口減少と少子高齢化が大きな課題であり、「第2期地方版総合戦略」を策定するなど、今後も危機感をもって、しっかり

と取り組む必要があります。

とりわけ子育て支援では、保育・幼児教育の無償化や教育環境の充実など、切れ目のない施策により地域と共に支えていくことが肝要であります。

その一方で、厳しい財政状況と縮小していく社会に対応すべく、現在実施している事業のあり方を再考すべき時でもあります。大きな時代の流れを的確に捉え、本市の特性を生かし、持続可能な「いちき串木野市」の姿を検討していかなければなりません。

日本の総人口が減少し、熾烈な都市間競争の中で、様々な分野における官民協力や地域間連携、政策間連携を図り、「地域の総合力」を最大限に発揮させることで、市民の皆様の満足度を高め、持続可能なまちの創造へとつなげてまいります。

それでは、平成31年度に展開する主要な施策について、総合計画の4つの基本方針の項目ごとに御説明申し上げます。

1. 市民と行政とのパートナーシップによる『共生・協働のまちづくり』

(1) コミュニティ

自治基本条例に基づき、市民が主役のまちづくりを実現するための共生・協働のまちづくりを進めてまいります。

まちづくり協議会において、地区まちづくり計画に基づく補助や地域リーダー養成研修の実施など、地域の活性化を図るとともに、モデル地区において、引き続きコミュニティ支援のあり方について研究してまいります。

(2) 行財政

行政改革については、第3次行政改革大綱に基づく取組に加え、新た

に経営改革課を設置し、10年、20年先を見据えた事務事業及び公共施設の見直しなど、更なる取組を進めてまいります。

人材育成については、職員の資質向上のため、総務省への職員派遣など、高い専門性と広い視野を持つ職員の育成に努め、多様化する施策の推進につなげてまいります。

2. 健康で文化的な生活を営める『元気で安心できるまちづくり』

(1) 生活環境

ごみ処理については、ごみの減量やリサイクルを促進するとともに、最終処分場等の適切な施設管理に努めてまいります。また、市来エネルギーセンターについては、本年から2か年かけて施設の解体を実施してまいります。

水道事業については、水道料金の改定や隔月検針の導入等による経営基盤の安定化を図るとともに、市内全域の管路耐震化計画に基づき事業を実施し、安心・安全・安定した水の供給に努めてまいります。

下水道事業については、公共下水道終末処理場の長寿命化と地方公営企業会計適用事業を進めてまいります。

防災については、近年の異常気象による災害時対応の充実を図るため、災害対策本部等の機能を備えた防災センターを建設いたします。また、自助・共助による防災活動を推進するため、自主防災組織の育成を図るとともに、総合防災訓練等を通じて防災・減災意識の醸成に努めてまいります。

原子力防災では、国・県と連携を図りながら、原子力防災訓練の実施や安定ヨウ素剤の事前配布に取り組むなど、避難計画の実効性を高めるよう努めてまいります。

消防については、引き続きはしご付消防自動車の更新に向けた基金を造成するほか、羽島コミュニティ消防センターの屋根防水改修を実施いたします。救急・救助業務では、複雑多様化する災害現場に備え、消防職員の資質の向上を図り市民の安心・安全の確保に努めるとともに、火災予防対策の徹底を図ってまいります。

エネルギー対策については、地域創生エネルギービジョンに基づき、民間事業者による再生可能エネルギーの導入促進など、環境維新のまちづくりを進めてまいります。

(2) 保健医療福祉

子育て支援については、妊娠・出産、育児、次代を担う子どもの育成まで切れ目のない支援を展開するとともに、結婚新生活支援や「縁結び隊」による出会いの創出及び結婚相談等の活動のほか、次期「子ども・子育て支援事業計画」を策定いたします。

母子保健事業では、安心・安全な妊娠・出産を支援するため、新たに、出産後の母親のケアを行う産婦健康診査事業を実施するほか、子どものむし歯予防等のため、フッ化物洗口をモデル保育園で実施いたします。

育児では、未来の宝子育て支援金制度のほか、10月からは国の施策とあわせて全ての3歳児から5歳児までの保育料の無償化に取り組み、子育て支援策の充実を図ってまいります。

市民の健康管理については、健康運動指導士による各種教室を通じて、市民自ら取り組む健康づくりを促進するとともに、新たに、風しん感染対策として抗体検査推進事業を実施するほか、感染予防や疾病の早期発見、経済的負担の軽減を図ってまいります。

国民健康保険では、医療費の抑制を図るため、生活習慣病の重症化予防事業等を実施するとともに、特定健康診査受診率の維持向上を図るた

め、未受診者対策やまちづくり協議会と連携した取組を継続し、安定的な運営に努めてまいります。

高齢者福祉については、住み慣れた自宅や地域で、医療・介護・福祉サービスが一体的に受けられるよう施策の充実を図ってまいります。

障がい者福祉については、障害者計画に基づき、障がい児から障がい者まで切れ目のない相談支援体制の充実を図ってまいります。

生活困窮者対策については、新たに就労準備等の支援員を設置し、自立を支援するとともに、生活保護制度の適正な実施に努めてまいります。

(3) 教育文化

学校教育については、児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせ、「豊かな心」と「健やかな体」を育むとともに、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進してまいります。

そのため、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー配置事業、特別支援教育支援員配置事業等の充実のほか、小中一貫教育を推進するとともに、コミュニティ・スクールの機能化を図り、本市の将来を担う「ふるさとを愛し、夢と志をもち、心豊かでたくましい人づくり」を進めてまいります。

英語のまち推進事業では、語学指導外国人（ALT）の活用など、小中学校での英語学習環境の充実を図ってまいります。

学校施設では、小学校の普通教室等の空調設備を整備し、快適な教育環境づくりに努めてまいります。また、国の幼児教育無償化にあわせて、10月から公立幼稚園について全ての園児の保育料を無償化いたします。

学校給食については、新たな学校給食センターを建設いたします。なお、来年4月の供用開始に併せて調理配送部門については民間事業者に委託することとしております。

社会教育については、子ども会や女性団体等との連携を深め、青少年の健全育成を目的に市民総ぐるみのあいさつ運動を展開いたします。

また、家庭、学校及び地域住民等の連携協力のもと、家庭教育支援事業、寺子屋制度モデル事業、子どもハローワーク事業を推進するなど、家庭や地域の教育力の向上を図ってまいります。

文化の振興については、萬造寺斉顕彰短歌大会の実施や伝統芸能の保存・伝承に努めるととともに、史料集「古文書編」の発刊に向けて取り組んでまいります。

スポーツの充実については、各種競技大会やスポーツ合宿誘致を推進するほか、本年7月に開会する全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催に向けて準備を進めるとともに、来年の国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の開催に向け、関係機関と連携しながら準備を進めてまいります。

国際交流については、国際交流員を活用した英語に親しめる環境づくりや留学生等の外国人と市民との交流活動を進め、国際化に対応した人材育成に努めてまいります。

3. 世界に羽ばたく力強い産業が展開する『活力ある産業のまちづくり』

農業の振興については、引き続き中山間地域等直接支払交付金事業等により地域の保全管理活動を支援するほか、農地中間管理事業による担い手への農地集積や耕作放棄地解消を推進してまいります。

担い手の確保対策では、農業次世代人材投資事業、新規就農者支援事業等に取り組むとともに、地域農業の担い手の経営基盤強化を図るため、集落営農の組織化を支援してまいります。

サワーポメロについては、PR・消費拡大などブランド化を進めると

ともに、老木からの改植補助を実施いたします。また、グリーン・ツーリズム協議会の活動を積極的に支援するとともに、食と農を活かした地域ぐるみの農家民泊の推進に取り組んでまいります。

畜産業振興については、肥育素牛導入保留緊急対策事業を実施し、子牛導入経費を支援するなど、畜産農家の経営安定を図ってまいります。

林業振興については、市猟友会と連携を図りながら鳥獣被害防止に努めるとともに、舟川野下線の林道整備や治山事業を実施してまいります。

水産業振興については、沿岸漁業対策で、人工魚礁の設置等により水産資源の維持・増大を図るとともに、串木野市漁業協同組合及び市来町漁業協同組合による共同利用施設の更新等の支援を行ってまいります。

また、羽島漁港周辺整備事業として、県営事業との調整を図りながら、新たな土地の埋立てを実施いたします。

遠洋まぐろ漁業では、まぐろ漁船母港基地化や薩州串木野まぐろプロジェクトの支援によりブランド化を推進するとともに、串木野まぐろフェスティバルの支援など、魚食普及とまぐろのまちのPRに一層努めるほか、新規まぐろ漁業就業者支援金制度等により後継者対策に努めてまいります。

企業誘致については、拡充した補助制度の活用により積極的に誘致活動に努めるとともに、既存企業の育成支援に取り組んでまいります。

また、本市特産品の海外販路開拓に向けて、シンガポール等での見本市出展など、企業の輸出活動支援を行うほか、クルーズ船誘致や東アジアへの木材の輸出促進など、串木野新港の利用促進を図ってまいります。

商工業振興及び食のまちづくりの推進については、ふるさと納税制度を活用し、全国に向けて市や特産品のPR活動を積極的に行っていくほか、商品開発や販路拡大に対する支援を実施してまいります。

また、空き店舗の活用や既存店舗のリフォームに対する補助のほか、通り会等のイベント開催支援など、商工会議所、商工会等が実施する事業への支援を行ってまいります。

雇用対策では、就労支援として、いちき串木野版ハローワーク（無料職業紹介所）の設置に向けた取組を進めてまいります。

観光振興については、開館5周年を迎える薩摩藩英国留学生記念館において、イベントの開催や特別企画展で充実を図りながら更なる集客に努めてまいります。

また、昨年好評を得たワイン、ビール、焼酎をテーマとしたWBSフェスティバルや、新たに、本市の食材や魅力を盛り込んだ「いちき串木野ふるさとの夕べ」を城山ホテル鹿児島で開催するほか、総合観光案内所と連携した体験型観光、地元食材を活用した料理教室の開催等により、交流人口の拡大に努めてまいります。

4. 利便性が高く美しいまちを創造する『快適な環境のまちづくり』

道路・交通網については、都心平江線、草良線及び寺迫観音ヶ池線等の地域間ネットワーク道路の整備や払山線等の生活道路改良を行うとともに、川内串木野線及び郷戸市来線の県道整備を促進してまいります。

公共交通については、地域公共交通網形成計画に基づき、いきいきバス・いきいきタクシーの路線の見直しや利用促進を図るなど、利用者目線に立った公共交通ネットワークの構築に取り組んでまいります。

市街地の整備については、麓土地区画整理事業の早期完了を目指し事業を進めるとともに、新たに、人口減少社会において都市全体の構造を見直す立地適正化計画の策定に向け、今後も持続可能な都市経営を可能とするための基本的な調査研究を行ってまいります。

住宅対策については、浜西住宅建替工事を実施するほか、民間住宅では、住宅リフォームや木造住宅の耐震改修を促進するとともに、空き家の活用促進や危険廃屋等の解体補助を実施してまいります。

以上、市政運営に当たり私の所信の一端と平成31年度の施策の概要について申し上げます。

今年は歴史的な節目である皇位継承、まさに歴史の転換点にあつて、その先の時代に向かって歩みを進める時であります。

新しい時代は、人口減少、少子高齢化の中で、A I（人工知能）やI C T（情報通信）分野での技術革新など、これまで経験したことのない社会変革を余儀なくされますが、そうした新しい時代であるからこそ、私たちの「人間力」が問われるものかも知れません。

「まち」は生き物であり、市民一人ひとりの「人間力」の総和であります。他がために行動する「人」の活力が、生命力みなぎる「まち」をつくれます。

行政だけでできないことも、様々な担い手と、共に考え、連携し、失敗を恐れず挑戦し、新しいやり方につなげていく。そして多くの人たちがそれぞれの役割を果たしていく中で手応えを感じ、「まち」への愛着を深めていく。そうしたまちづくりを念頭におき、市民の皆様の参画のもと、次代を担う子どもたちが愛着と誇りを持ち、「住み続けたい」と実感できるまち、「住んでみたい」と選択されるまちを目指し、戮力協心、職員一丸となって全力を尽くしてまいります。

議員各位並びに市民の皆様のお一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。